

認定番号：11 サポーター名：荒川ビジョン推進協議会

▶実施内容の分類：(2) (3) (5)

取組 実績	<p>1・講演会（国土交通省出前講座）（参加者109名）</p> <ul style="list-style-type: none">・目的 荒川源流域住民等への荒川流域治水の情報提供・共有化を目的とした研修会の開催・日時 令和7年7月30日（水）・場所 秩父宮記念市民会館 2階 けやきフォーラム・講師 国土交通省 水管理・国土保全局 治水課 企画専門官 川住 亮太 様・講演内容 「ハイブリットダム of 取組み」について講演 気候変動への適応・カーボンニュートラルへの対応のため 治水機能の強化と水力発電の促進を両立させるダムの取組み、 水源地域の活性化にダムをさらに活用する取組みの講演
----------	---

流域治水オフィシャルサポーター 令和7年度取り組み実績

認定番号： 11 サポーター名：荒川ビジョン推進協議会

▶実施内容の分類：(2) (3) (5)

取組 実績	2・二瀬ダム見てんべえツアー（参加者22名）
	・目的 二瀬ダム見てんべえツアーを開催。普段見られないダム内部の見学、豊かな自然の中で魚釣り体験を通じ、荒川上流地域の魅力や特徴、ダムの役割等について広く知っていただく。
	・日時 令和7年8月23日（土）
	・場所 荒川 二瀬ダム（秩父市大滝）
	・案内 二瀬ダム管理所職員

流域治水オフィシャルサポーター 令和7年度取り組み実績

認定番号： 11 サポーター名：荒川ビジョン推進協議会

▶実施内容の分類：(2) (3) (5)

取組実績	3・足立区との交流（参加者34名）
・目的	秩父市長による「荒川流域圏構想」を講演、荒川を通じた流域連携をキーワードとして、人々の結びつき交流を大切にし、流域の課題、上流域・中流域・下流域の役割の共通認識を持つこと
・日時	令和7年10月21日（火）
・場所	秩父市役所
・交流会	秩父市：清野和彦秩父市長他9名 足立区：工藤信副区長他15名 4町関係者等：10名
・参加	秩父市職員・足立区職員・荒川ビジョン推進協議会事務局

認定番号： 11 サポーター名：荒川ビジョン推進協議会

▶実施内容の分類：(2) (3) (5)

取組実績	<p>4・荒川上中下流講演会（参加者130名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 秩父市長による「荒川流域圏構想」・国土交通省荒川上流河川事務所・国土交通省荒川下流河川事務所による荒川の治水計画・事業を講演、流域に関わるあらゆる関係者（国、県、市町村、企業、住民等）が協働して対策を進めて行く必要があり、出席者が「荒川流域治水」の考え方を理解し、共有認識を深めるための講演会 ・日時 令和7年12月15日（月） ・場所 秩父市歴史文化伝承館 2階 大ホール ・案内 講演者 <ol style="list-style-type: none"> 1・「荒川上流域」について 荒川流域圏構想 秩父市長 清野和彦 様 2・「荒川中流域」について 国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所 流域治水課長 柳川一博 様 3・「荒川下流域」について 国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所 流域治水課長 新保友啓 様
------	---

認定番号： 11 サポーター名：荒川ビジョン推進協議会

▶実施内容の分類：(2) (3) (5)

取組実績	<p>5・荒川流域を守る意見交換会（参加者30名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 荒川流域のあらゆる関係者で地域を守り続けるために、上流地域、中流地域、下流地域との連携が必要であり、上流地域が一致団結し、中・下流地域との積極的な交流を推進し、情報の共有化を図ることを目的とした意見交換を行う。 ・日時 令和8年2月18日（月） ・場所 秩父市役所 3階 第1・2委員会室 ・参加者 国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所 所長 国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所 所長 国土交通省 関東地方整備局 二瀬ダム管理所 所長 秩父市長・横瀬町副町長・皆野町長・長瀬町長・小鹿野町長 東秩父村長・埼玉県地域振興センター 所長 埼玉県秩父農林振興センター 所長 埼玉県秩父県土整備事務所 所長 荒川ビジョン推進協議会事務局
------	---

認定番号： 11 サポーター名：荒川ビジョン推進協議会

▶実施内容の分類：(2) (3) (5)

取組 効果	<p>1・「ハイブリットダム of 取組み」講演 気候変動による地球温暖化が、人々の生活において様々な影響が発生していることを知るにより、気温の上昇、降水量の増加等により発生する災害等に備えることの必要性について、市民等が理解を深める機会となった。 秩父市長による「荒川流域圏構想」・国土交通省荒川上流河川事務所・国土交通省荒川下流河川事務所による荒川の治水計画・事業を講演、流域に関わるあらゆる関係者（国、県、市町村、企業、住民等）が協働して対策を進めて行く必要があり、出席者が「荒川流域治水」の考え方を理解し、認識を深めるたことができた。</p> <p>2・二瀬ダム見てんべえツアーの実施 荒川上流にあるダムのツアーと魚釣りなど自然体験により、水や森林、環境について考える機会を与え、ダム及び森林の重要な機能・役割を理解する機会となった。</p> <p>3・足立区との交流会 秩父市長による「荒川流域圏構想」を講演、荒川を通じた「流域連携」をキーワードとして、人々の結びつき交流を大切にし、流域の課題、上流域・中流域・下流域の役割の共通認識を持つことができた。</p>
----------	--

認定番号： 11 サポーター名：荒川ビジョン推進協議会

▶実施内容の分類：(2) (3) (5)

取組 効果	<p>4・荒川上中下流講演会 秩父市長による「荒川流域圏構想」・国土交通省荒川上流河川事務所・国土交通省荒川下流河川事務所による荒川の治水計画・事業を講演、流域に関わるあらゆる関係者（国、県、市町村、企業、住民等）が協働して対策を進めて行く必要があり、出席者が「荒川流域治水」の考え方を理解し、共有認識を深めるための講演会が実施できた。</p> <p>5・荒川流域を守る意見交換会 荒川の上流地域、中流地域、下流地域の流域全体における交流を図り、情報を共有し、地域の連携及び相互支援につなげる取り組みを推進していくために、上流地域（1市4町1村）の首長をはじめ、埼玉県の出先機関及び国交省が一同に会し、一丸となって決意新たに意見交換を行った。流域に関わるあらゆる関係者が「荒川流域治水」の考え方、上中下流地域との交流や情報共有の重要性、連携のあり方、荒川流域を守り続けるための仕組みや今後の進め方などについて互いに共通の認識を深めることができた。</p>
----------	---